

はじめよう、フードドライブ

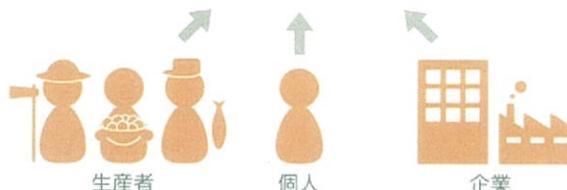
食べることに困っている人たちへ
食べ物を届けたい。

いただきものや買いすぎてしまったもの、
何らかの理由で流通にのらないものなど
保管されたままの食料品をフードバンクなどを通じて
地域の生活困窮者や児童・障がい者施設などに
寄付する活動、それが
“FOOD DRIVE(フードドライブ)”です。
学校や職場、いつも交流している身近な方々で
食料支援をはじめてみませんか。

*「ドライブ」とは「運動」「キャンペーン」というような意味です。



生活困窮者や食の支援を必要とする人のための
団体・福祉施設など



food bank IWATE

ご提供いただきたい食料品

食料品例

- 缶詰類(サバ缶、サンマ缶、ツナ缶、焼き鳥缶、大豆缶など)
- レトルト食品(カレー、親子丢、牛丼、ミートソース、釜飯の素など)
- 瓶詰類(なめ茸、佃煮、さけフレークなど)
- ふりかけ類(ふりかけ、お茶漬けの素などご飯のお伴)
- 乾物類(わかめ、はるさめ、かつおぶし、昆布、ひじき、インスタントみそ汁など)
- お米(精米、前年度産までの分)
- 乾麺(スパゲッティ、インスタント麺など)
- 贈答品(のり、お茶、お歳暮・お中元など)

条件

- 賞味期限が1ヶ月以上のもの

- 未開封の物

※アルコール類、自家製品(漬け物等)は
受け付けていません。

※冷凍・冷蔵品、日持ちがする根菜類については
お尋ねください。

ご協力いただける 企業を募集しています

食料の提供／食料の運搬・保管／寄付金
ご支援をいただけませんか。

社会貢献

地域社会への
貢献ができ、企業の
イメージ向上に
つながります。

コスト削減

食料提供することで
食品ロスを減らし
廃棄コストを
削減できます。

事業効果

地域課題への
企業の取り組みは
新しいチャンスを
生みます。

子どもの貧困 生活困窮者が増えている

日本の子どもの貧困率は戦後最大の16.3%となってしま
いました。一日の食事が「給食だけ」の生徒もいます。

「おにぎり食べたい」と日記に書き残して亡くなった52歳
の失業中の男性(2007年北九州市)。「もっとおいしい食事
をさせてあげたかった」というメモを残して3歳の子どもと
一緒に亡くなった28歳のDV被害の女性(2013年大阪市)。
公営住宅強制退去の日に、必死に守り続けていた中2の
一人娘を絞殺し、4日前に撮ったビデオを見終わったら死のう
と思った44歳の母(2014年銚子市)。貧困による悲劇の報道
が後をたちません。

生活保護受給者と生活保護基準以下で暮らしている人が
どれくらいいるかを示す都道府県別貧困率(山形大学人文学
部戸室健作准教授論説)を見ると岩手県は16%。6世帯
に1世帯が困窮世帯ということになります。

本当に困っていても、誰か頼れる人がいなければ「助けてくれ」
と言うことができません。その結果、誰にも気づかれていま
飢餓で命を落としてしまう悲劇が生まれます。突然の解雇や
倒産、介護や病気による失職、災害、障害、DVなどをきっかけ
として、誰もが生活困窮におちいる可能性があります。しかし
支援さえあれば、そこから抜け出すこともできるのです。

	子どもの貧困率	相対的貧困率
1985年	10.9%	12.0%
1994年	12.1%	13.7%
2003年	13.7%	14.9%
2012年	16.3%	16.1%

*厚生労働省の国民生活基礎調査の概況より

food bank IWATE

food bank IWATE